

近畿大学農学部
緑友会会報

第 22 号
発行所

近畿大学農学部緑友会
広報・編集委員会
編集委員長 川西 正子
631-8505 奈良市中町3327-204
TEL: 0742 (43) 1511
http://www.nara.kindai.ac.jp/

どうすれば、情報を
お手元にお届けできるか？

緑友会会長 松田 克礼



緑友会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、皆様方には平素から緑友会に格別なご支援とご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、東大阪キャンパスでは「超近大プロジェクト」が進行しており、本年4月には新たな学術拠点「アカデミックシアター」が完成しました。そのコンセプトは「文理の垣根を越えて社会の諸問題を解決に導くための学術拠点」。近大独自の分類法を導入した図書館、24時間利用できる

「まほろば」からの発信…
創立60周年に向けて

農学部長 重岡 成



緑友会の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より農学部発展のため、多大なご支援とご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

さて農学部は、1958年（昭和33年）に創立され来年で60周年、そして奈良キャンパスに移転（平成元年）して30年を迎えます。その記念

近大農学部の現状
及び将来計画

事務長 伊藤 博樹



農学部緑友会会員のみなさまには、日頃から大変お世話になっております。

みなさまが卒業された近大農学部は正に驚異的な勢いで順調に発展しており、2017年度入学試験では、志願者総数が前年度比12.6%となり、益々注目が集まっております。大手予備校の評価におきましても、農学・水産系進学希望者が多くなっているのは近畿大学の存在があると言っていたと思います。

産官学連携としましては、外部から獲得した研究資金（受託・寄附研究、科研費等の補助金）は、2016年度で152件、総額3億円あまりにのぼり、ますます本学部への期待の大きさを感しております。

2016年度卒業生は、学部が627名、大学院博士後期6名、博士前期54名です。就職内定率は約98%です。奈良県庁等の行政職へは10名の充実（研究所の設立）を図りたいと考えています。そのためには、大学人としての我々は、研究活動としての論文、特許、学会発表などを介して皆さんに成果を知らしめ、それらが世の中に役に立つ「実学研究」となることを目指します。

君の名は、押しも押されぬ農学部！受験生に選ばれる、在校生に好まれる、愛される、そして卒業生、修了生に喜ばれる農学部！緑友会の皆様には、今まさに本学の中心学部のひとつとして、躍進を続ける農学部の現状をご理解いただき、さらなるご支援を切に願います。最後になりましたが、皆様の「ご多幸とご健康を」お祈りし、挨拶とさせていただきます。

が就職、企業へは（株）明治、小林製薬（株）等の上場企業をはじめ、優良企業への就職が目立ちました。大学院進学は90名で、近畿大学大学院が57名、国立大学院33名です。

さて、皆様にご報告すべきトピックスとして、

①農学部入学定員を各学科10名、合計60名増やし、680名となったこと。

②奈良県等との包括協定を締結し、産官学連携を更に強化したこと。

③農学部創設60周年及び奈良キャンパス移転30周年記念事業として、平成30年度完成予定で多目的ホール建設計画を立案したこと。

④給食経営管理・調理実習室建設計画を立案したこと。（平成30年度完成予定）

⑤図書館改修及び増床計画を立案したこと。（平成30年度完成予定）

これからも前進あるのみという意識で取り組んでいきたいと考えています。

本学の財産である卒業生のみなさまの応援を今後とも願っています。

農学研究科の近況
～大学院生の熱い情熱～

大学院農学研究科長 森山 達哉



農学部緑友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。会員の皆さまの相変わらずのご支援に對して厚く御礼申し上げます。さて、現在、農学研究科には博士前期課程122名、博士後期課程20名が在籍し、活発に研究活動に邁進しております。緑友会からご支援頂いております学

位論文の優秀発表者を表彰する緑友会賞もすっかり定着し、公聴会や修士論文発表会での大学院生達の大きなプレゼンテーションのつらなっています。

皆さんもご存じの通り、現在、近畿大学は破竹の勢いで進化・発展しており、その存在感是我が国だけでなく世界レベルでも躍進しております。なかでも、農学部／農学研究科の研究成果や教育活動は新聞やマスコミでも連日のように取り上げられております。大学における研究推進の立役者は、大学院生であることは疑う余地はありません。優秀で熱心な大学院生が日々研究に邁進することと新たな発見や発明があり、基礎

研究から実学研究へと発展し、社会に還元できる成果が複数もたらされています。このような現状を証明するように、マツケの人工栽培への挑戦などの大きな研究プロジェクトも進行中であります。また、今年の9月2日（土）には、「近畿大学大学院サイエンスネットワーク2017・第7回院生サミット2017」も開催予定であり、現在、準備を進めています。テーマは「基礎研究と実学研究の融合～KINDAIの若い情熱が世界を救う～」であり、世界を変え世界を救うのは私達だ！という熱い情熱を存分に披露できる会にしたいと考えています。

今後、大学院生を中心とした農学研究科発のトピックスが皆さんへ届けられるように研究科一丸となって精進してまいります。今後とも引き続き指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

準備の都合上、電子メール（ryokujimu@nara.kindai.ac.jp）または電話（0742-43-7273（内線2030）：直通）にて出席のご一報を頂ければ幸いです。

本年11月に近畿大学農学部緑友会第9回総会・懇親会を開催いたします。

近畿大学農学部卒業のみなさまも、ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。みなさまの母校農学部も、ここ最近の近畿大学の発展に大きく寄与しております。社会人となった卒業生の中には、近大農学部OBのつながりをビジネスに活かしてご活躍の方も大勢いらっしゃいます。

緑友会は、近畿大学農学部とその卒業生と共に歩んで参りました。その設立から20年以上が経ち、このたび近畿大学農学部緑友会第9回総会（平成26～28年度事業報告・収支決算報告ならびに平成29～31年度事業計画・予算・人事案）を、平成29年11月3日（祝）正午より近畿大学農学部209教室にて開催いたします。総会終了後には、食堂において懇親会を開催いたします。この懇親の場は、卒業生同士の情報交換・交流の場でもあります。この機会を是非ご活用頂き、新たなつながりが生まれることを期待しております。懇親会には、現役教員も参加いたしますので、大学と社会のつながりにも貢献できるのではないかと期待しております。ビジネスのみならず、この機会を同窓生との会合の場として利用頂いても良いかと思っております。

総会開催当日は農学部祭が開催されておりますので、ご家族お揃いでお越し頂いても楽しめると思います。

ぜひ多くの卒業生みなさまの参加をお願い申し上げます。

現在、緑友会は、会員から納付頂いた1万円の終身会費で運営されております。終身会費が未納である諸先輩方は、総会受付でも納入して頂けますので、是非この機会に納金をお願いいたします。

準備の都合上、電子メール（ryokujimu@nara.kindai.ac.jp）または電話（0742-43-7273（内線2030）：直通）にて出席のご一報を頂ければ幸いです。

H28年度 校友会長賞、緑友会賞一覧

博士前期課程

専攻	氏名	テーマ
農業生産科学専攻	川戸 良将	イネとの接触混植による畑作物種の湛水ストレス緩和
	神川 汐里	マンゴーにおけるUFGT遺伝子の単離とその発現制御機構の解析
水産学専攻	和田 好平	養鰻施設を用いたマナマス養殖事業に関する経営的研究
応用生命化学専攻	山口 大志	<i>Bacillus amyloliquefaciens</i> CMW1由来の推定ペプチド遺伝子の異種発現と抗菌活性の検討
環境管理学専攻	小橋 興次	水田メソコスムにおける水生昆虫類の組成と構造に及ぼすイミダクロプリドおよびジノテフランの影響
バイオサイエンス専攻	大内 俊和	イネ白葉枯病認識受容体Xa1の相互作用因子Rap2.6を介した転写活性化機構の解析
	目崎 博久	キチン認識受容体の構成因子PUB12によるキチンシグナル伝達の制御機構の解析

博士後期課程

専攻	氏名	テーマ
バイオサイエンス専攻	山田 健太	植物のキチン応答におけるMAPKカスケード活性化機構の解明

緑友会へのご寄付お願い

このたび緑友会は、会報発行をはじめ卒業生名簿の管理、緑友会賞の授与などの緑友会活動のさらなる活動充実の為の原資として卒業生のみなさまに寄付をお願いする次第です。経済状況が厳しい折に誠に恐縮でございますが、緑友会の現状をご理解頂き、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお寄付金は一口5,000円とさせて頂き、お一人様の上限はございません。お振り込みの際には、**氏名、卒業年度を合わせてお知らせ頂きますようお願い申し上げます。**（お手数ですが、お振り込み後にお電話またはメールで、ご住所、お名前、卒業年度をお知らせ頂ければ幸いです）

〇振込口座〇

三菱東京UFJ銀行 富雄出張所
普通 3574857
近畿大学農学部 緑友会

〇連絡先〇

近畿大学農学部 緑友会事務局
電話 0742-43-7273 (2030)
E-mail ryokujim@nara.kindai.ac.jp

寄付者芳名一覧（2016年度ご寄付分）

村上 秀治 様（昭和45年度 農学科）
高谷 政広 様（昭和45年度 農芸化学科）
校友会 食品支部 李忠儒 様

ご協力ありがとうございます。

今後も会員相互の親睦を深め母校の発展に寄与して参りたいと考えております。どうかご支援賜りますようお願い申し上げます。（注）公開をご希望されない方については、掲載しておりません

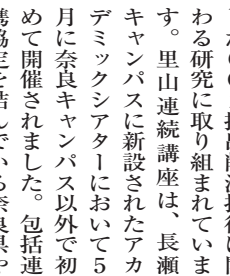


当学科では、平成29年4月1日から公衆栄養学研究室の郡俊之講師が准教授に昇格され、平成29年5月1日から生



食品栄養学科
学科長
上嶋 繁

当学科では、平成29年4月1日から公衆栄養学研究室の郡俊之講師が准教授に昇格され、平成29年5月1日から生



食品栄養学科
学科長
上嶋 繁



当学科では、環境化学研究
室の坂上吉一教授が平成29年
度末にご退職されました。坂
上教授の後任として、城島透
教授が4月に着任されました。
城島教授は環境微生物学が専
門で、特に微生物機能を活用
したCO2排出削減技術に関
わる研究に取り組まれています。
里山連続講座は、長瀬
キャンパスに新設されたアカ
デミックシアターにおいて5
月に奈良キャンパス以外で初
めて開催されました。包括連
携協定を結んでいる奈良県や
八尾市との調査研究や地域活
動も積極的に行っています。
今まで培ってきた知見をもと
に、教育・研究のさらなる発



環境管理学科長
学科長
松野 裕

学科研究室・教員

農業生産科学科

- 育種学(種坂 英次・築山 拓司)
- 園芸植物学(神崎 真哉・小枝 壮太)
- 昆虫学(香取 郁夫・米谷 衣代)

水産学科

- 漁業生産システム(光永 靖・鳥澤 眞介)
- 水産経済学(多田 稔)
- 水産生物学(小林 徹・小林 靖尚・渡邊 俊)

応用生命化学科

- 応用細胞生物学(森山 達哉・財満 信宏)
- 応用微生物学(岸本 恵明・倉田 淳志)
- 食品微生物学(白坂 憲章・福田 泰久)

食品栄養学科

- 栄養機能学(米谷 俊・竹森 久美子)
- 栄養教育学(川西 正子・明神 千穂)
- 給食経営管理学(富田 圭子・安岡 美穂)

環境管理学科

- 環境化学(城嶋 透・森 美穂)
- 環境政策学(池上 甲一・鶴田 格・前潟 光弘)
- 里山生態学(澤田 拓夫・河内 香織)

バイオサイエンス学科

- 植物分子遺伝学(川崎 努・山口 公志)
- 植物分子生理学(重岡 成・田茂井 政宏)
- 生命情報工学(武田 徹)

教養・教育基礎部門

木村 正則・赤羽 仁志・西垣 佐理・ロバート・ショーンシェリダン

作 物 学

- 作物学(飯嶋 盛雄・山根 浩二・廣岡 義博)
- 植物感染制御工学(松田 克礼・野々村 照雄)
- 植物・人間関係学(林 孝洋)
- 農業経営経済学(増田 忠義・大石 卓史)

水産増殖学

- 水産増殖学(太田 博巳・澤田 好史・石橋 泰典)
- 水産利用学(塚正 泰之・安藤 正史・福田 隆志)
- 水族環境学(江口 充・永田 恵里奈・谷口 亮人)
- 海棲哺乳類学(酒井 麻衣)

森林生物化学

- 森林生物化学(板倉 修司・梅澤 究)
- 生命資源化学(飯田 彰・澤邊 昭義・山下 光明)
- 生物制御化学(松田 一彦・森本 正則・伊原 誠)
- 学 科 共 通(吉岡 佐知子)

公衆栄養学

- 公衆栄養学(伊藤 龍生・郡 俊之・蒲 尚子)
- 生体機能学(上嶋 繁・安澤 俊紀・赤田 菜佑子)
- 食品化学(渡辺 克美・上田 茂登子)
- 臨床栄養学(木戸 慎介・上西 梢)

国際開発・環境学

- 国際開発・環境学(八丁 信正・松野 裕)
- 水圏生態学(細谷 和海・ジン タンゴナン)
- 生態工学(奥村 博司・阿部 進)
- 保全生態学(北川 忠生・早坂 大亮)

天然物有機化学

- 天然物有機化学(北山 隆)
- 動物発生工学(加藤 容子・谷 哲弥)
- 動物分子遺伝学(佐渡 敬・岡村 大治)
- バイオ分子化学(大沼 貴之)
- 分子生物学(内海 龍太郎・篠原 美紀・加藤 明宣)

— 農学部祭の案内 —

今年も毎年恒例となりました「農学部祭・飛鳥祭」の季節がやってまいりました。今年の農学部祭は11月1日(水)から11月3日(金・祝)までの3日間開催する予定です。現在、農学部祭実行委員会や各参加団体が日々農学部祭にむけ準備・活動しています。農学部祭実行委員会では今年も農学部祭の象徴であるパスロータリー側の入口に設置する凱旋門や渡り廊下上に設置する巨大壁画の製作やステージ企画の考案に取り組み、手作り感溢れる農学部祭にすべく日々努力しています。農学部祭の構成としては、初日は在校生のみ参加する体育祭が行われ、2日目・3日目は一般の方も楽しめる文化祭が行われるという形になっています。今回の農学部祭のテーマは「菜農開花」であり、2日間行われる文化祭の中では、毎年近大マグロの解体ショーが行われ、昨年も今話題の近大マグロが無料で試食できるとあって、多くの方々にお越しいただきました。その他にも、ご家族で楽しめるヒーローショーやお笑い芸人のライブ、各研究会系クラブ団体の展示会や部活や研究室で出店する模擬店など、各種イベントが目白押しであり、農学部生が「開花」する姿を是非ご覧ください。卒業生の皆様方や地元住民の方々、在校生全員が楽しめる農学部祭を農学部祭実行委員会が中心となり、農学部生一丸となって作り上げていこうと思います。当日の皆様のお越しを学生一同、心よりお待ちしております。

近畿大学農学部実行委員会

新任の挨拶

農業生産科学科 昆虫学研究室

講師 米谷 衣代

平成29年4月1日付で農業生産科学科昆虫学研究室に講師として着任いたしました米谷衣代と申します。私は大阪教育大学を卒業後、京都大学理学研究科にて学位を取得しました。その後はドイツ学術交流会、日本学術振興会などの博士研究員を経て現職に至りました。

これまでの研究では、植物の揮発性物質が多様な情報を伝達可能で他の生物との相互関係や生物多様性に影響を与えていることを明らかにしてきました。今後はこれまでの基礎研究を進展させ、農生態系と自然生態系を行き来する害虫と天敵の群集形成機構の研究を行い、生物多様性の保全と活用や減農薬につながる害虫管理技術の発展に貢献したいと考えております。また、講義、実習、卒業研究を通じて理解すること、考えること、人となつていくことの大切さを伝え、社会に貢献できる人材の育成にも励んでいきたいと思っております。緑友会会員皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度4月1日付で応用生命化学科森林生物化学研究室に助教として着任いたしました梅澤と申します。昨年度、東京農工大学連合農学研究院にて学位を取得し、今年度より近畿大学に参りました。

応用生命化学科 森林生物化学研究室
助教 梅澤 究

私はいわゆる「きのこ」として知られる、担子菌の木材分解機構についての研究を行っています。森林資源は持続可能なバイオマス資源であり、石油代替資源の一つとして注目されています。担子菌の中でも木材腐朽菌と呼ばれる菌は、森林の主要な分解者として知られています。私はこの木材腐朽菌の木材分解機構を解明し、これを木材の低分子化に応用することで、森林資源の利用用途の拡大につなげていきたいと考えており、それに向けた研究を行っています。

今後、学生たちとともに研究に邁進し、近畿大学の教育理念である「実学教育」により、社会で活躍できる人材を育成していけるよう努力してまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成29年4月1日付で水産学科水産利用学研究室に着任いたしました福田隆志です。私は奈良市生まれで、高校を卒業するまで新大宮に住んでおりました。実に25年ぶりの帰郷になります。まさか生まれ故郷に戻ってくるとは想像もしておらず、今はすっかり忘れた関西弁のリハビリをしております。

水産学科 水産利用学研究室
准教授 福田 隆志

私の専門は「天然物化学」で、キノコに始まり陸生の微生物さらには海洋の微生物を材料とした研究を展開しております。これまでの研究過程で、海洋微生物の特に創薬資源としての可能性を強く感じ、新薬発見に向けて、日々研究に精進しております。未だ手付かずと言われる創薬としての海洋資源の研究に携われることを、心から嬉しく思っております。

食品栄養科学科 生体機能学研究室
契約助手 赤田 菜祐子

本年5月より、食品栄養科学科の生体機能学研究室に契約助手として着任いたしました、赤田菜祐子と申します。近畿大学農学部食品栄養学科を卒業後、社会人経験を経て、再び近畿大学でお世話になることになりました。

学生の頃を思い出すと同時に、立場が変わった今、教員としてのどのように学生と関わっていくかを考えながら毎日過ごしております。先生方に教えていただきながら、学生生活のサポートや学生への指導、研究等に一生懸命取り組み、研究等にご協力させていただきます。至らない点は多々ございますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

環境管理学科 環境化学研究室
教授 城嶋 透

本年4月に環境管理学科・環境化学研究室に着任しました城嶋と申します。私は、低炭素社会の実現に向けて、微生物を利用してリグノセルロース系バイオマスからバイオ燃料やバイオ化学品を生産するバイオリファイナリーに関する研究開発を行っています。地球温暖化問題は、全世界が直面する喫緊の課題であり、バイオリファイナリーに対する社会からの期待も高い状況ですが、一方で経済性のあるバイオリファイナリー技術は、世界的に見てもまだ少ないのが現実です。近畿大学では、これまでの経験に加えて周りの先生方とのコラボレーションを通して、低炭素社会の実現に資する研究開発に取り組みたいと思っております。また教育面では、建学の精神に則って、社会に求められる人材の輩出に努めます。まだまだ未熟な私ですが、近畿大学農学部的发展に貢献できよう努力を続けていく所存です。緑友会会員皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年4月1日付でバイオサイエンス学科分子生物学研究室に教授として着任いたしました、篠原美紀です。大阪大学理学部生物学科を卒業し、同大学院医学研究科で学位を取得後、シカゴ大学放射線腫瘍学部、広島大学原爆放射線医科学研究所、大阪大学蛋白質研究所を経てこちらに参りました。これまで大学といっても、研究所で研究を主

たる業務としてまいりました。近畿大学に来て、我が子よりも若い新入生を前にして何よりも可愛い一として、元気に、毎日、気持ちの良い朝を感じることができます。この若者たちに、知識の定着にとどまらず、社会で出会うであろう、困難に立ち向かい自ら倫理的に考え切り抜ける柔軟な力と、人生を楽しむための多くの引き出しを身につけられるように大学生生活を有意義にするためのサポートをしていきたいと考えています。緑友会会員の皆様にはこれからよろしくご指導いただきますよう、お願いいたします。

バイオサイエンス学科 分子生物学研究室
教授 篠原 美紀

平成29年4月1日付でバイオサイエンス学科分子生物学研究室に教授として着任いたしました、篠原美紀です。大阪大学理学部生物学科を卒業し、同大学院医学研究科で学位を取得後、シカゴ大学放射線腫瘍学部、広島大学原爆放射線医科学研究所、大阪大学蛋白質研究所を経てこちらに参りました。これまで大学といっても、研究所で研究を主

たる業務としてまいりました。近畿大学に来て、我が子よりも若い新入生を前にして何よりも可愛い一として、元気に、毎日、気持ちの良い朝を感じることができます。この若者たちに、知識の定着にとどまらず、社会で出会うであろう、困難に立ち向かい自ら倫理的に考え切り抜ける柔軟な力と、人生を楽しむための多くの引き出しを身につけられるように大学生生活を有意義にするためのサポートをしていきたいと考えています。緑友会会員の皆様にはこれからよろしくご指導いただきますよう、お願いいたします。

環境管理学科 環境化学研究室
教授 城嶋 透

本年4月に環境管理学科・環境化学研究室に着任しました城嶋と申します。私は、低炭素社会の実現に向けて、微生物を利用してリグノセルロース系バイオマスからバイオ燃料やバイオ化学品を生産するバイオリファイナリーに関する研究開発を行っています。地球温暖化問題は、全世界が直面する喫緊の課題であり、バイオリファイナリーに対する社会からの期待も高い状況ですが、一方で経済性のあるバイオリファイナリー技術は、世界的に見てもまだ少ないのが現実です。近畿大学では、これまでの経験に加えて周りの先生方とのコラボレーションを通して、低炭素社会の実現に資する研究開発に取り組みたいと思っております。また教育面では、建学の精神に則って、社会に求められる人材の輩出に努めます。まだまだ未熟な私ですが、近畿大学農学部的发展に貢献できよう努力を続けていく所存です。緑友会会員皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

新

旧



退職後は、前期に週1回非常勤で農学部で講義を担当しております。また、現在は、引き続き日本防衛防衛学会での活動を続けるとともに、NPO奈良県HACCP研究会の理事長、市民生活共同組合ならコープの非常勤理事、専門学校の非常勤講師等の立場で、第二の人生を一定のペースで歩んでおります。では、以上ですが、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

退任のご挨拶

前原用生命化学科 教授

田中 裕美

退任のご挨拶

前環境管理学科 教授

坂上 吉一

共に研究した学生の皆さんのおかげと感謝しております。研究面では、以前からの研究テーマである施設園芸害虫に対する天敵利用について、プロジェクト予算も取れ、それなりの成果も得られたと自負しています。まだ論文として公表していない成果が多いので、これから論文執筆に励む予定です。国際学会や国際研究集会には年一、二回参加しましたが、情報交換の場として、旧知の研究者と旧交を温める場として大いに役立ちました。また海外の美しい景色は心のいやしとなりました。今後はまだしばらく害虫の生物的分野に関わりをもつことになりました。最後に緑友会並びに農学部の益々の発展をお祈りいたします。

2017年3月31日をもって、近畿大学を退職いたしました。2005年3月31日、54歳で大阪府を早期退職し、4月1日付けで近畿大学農学部環境管理学科に赴任し、12年間が経過いたしました（結果的に定年が6年間延びました）。思い返せば、あつと言う間の12年間でした。2005年は農学部の学科再編がスタートした時期であり、私が赴任できたのも学科再編で環境管理学科が新しく誕生したことにあります。この間、数多くの学生とともに歩んで来ましたが、現在、社会人として各自頑張っていることは、この上ない幸せです。

緑友会の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。昭和50年4月から42年間近畿大学農学部で勤務させていただきました。その間、学科は農芸化学科から応用生命化学科に改組され、研究室名は林産化学、森林資源化学、森林生物化学へと、場所は長瀬の本部キャンパス15号館から新22号館、富雄の奈良キャンパスへと変わりました。近畿大学農学部を取り巻く環境も大きく変わり、当時とは比較にならないほど研究環境も研究設備も整ってきました。私が採用されたのは、微生物を扱えるという理由と、女性なら回転が速く給料が抑えられるくらいの理由であったように思います。不慣れで経験のない上に研究設備も整っておらず、何もないところからのスタートでした。しかし諸先生方のご支援や多くの卒業生たちの頑張りにより、木材保存の分野ではある程度の実績を残すことができたのではないかと考えております。現在木材保存の分野やその他の分野で多くの卒業生が活躍しており、本当に心強く頼もしく思っております。これもひとえに近畿大学、多くの先生方や卒業生の皆様のおかげと深く感謝いたしております。

本当にありがとうございました。

退任のご挨拶

前バイオサイエンス学科 教授

深溝 慶

私は、2017年3月31日をもって、32年間勤務いたしました近畿大学農学部を退職させていただきます。この間、所属していた旧食品栄養学科およびバイオサイエンス学科の諸先生方、院生諸君、学生の皆さん方には本当にお世話になりました。心から感謝申し上げます。現在、タイ王国のスラナリー工科大学生命化学科において客員教授として教育および研究に携わっております。この2ヶ月間、生化学機器分析に関する講義を担当し、院生たちのアカデミズムに対する真摯な姿勢に感銘を受けました。それでも、トムヤムクンのスープに汗をかきつつシンハビアを飲みながら、明るく親しみやすい院生たちとたわいもない話で盛り上がるたびに、日本の大学と共通する教員と院生の一体感という組織力を感じます。これからさらに新たな経験を積みながら、この恵まれたタイでの研究生活を楽しんでいきたいと思っております。近畿大学農学部緑友会の皆さん、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



新入生の夢

私の夢

農産生産科学科

小橋 耕平

大学入学前、大学というのは専門的な学問を学び、将来就きたい職業に向けて努力し、そして自分の可能性を広げてくれる場所だと思っています。

大学に入学して数ヶ月がたちましたが、自分の考える大学像は変わっていません。僕には将来就きたい職業がいくつかあるのですが、農学部では、講義や説明会など、1回生から就職について考える機会が多くあります。これらの機会を通じて、就職についてじっくりと考えていきたいと思っています。

また、大学では、サークル活動にも積極的に参加していきたいと考えています。農学部のサークルは多種多様で非常に迷いましたが、農芸化学研究会に入りました。サークルに入ったことで、他学科の友達ができたり、尊敬する先輩が数多くできたりと、本当に毎日が充実しています。

大学の4年間を通じて、小さなことから大きなことまで多くの目標をたて、失敗しても諦めずに成功するまでチャレンジする、そのような大人になってみせます。

将来の夢

水産学科

成木 壮光

私は海の近くで、潮の匂いを感じながら育ち、高校では農業について学んできました。そこで人間活動による排水によって身近な海が汚染されている現状を知りました。私は

美しい風景を写真撮影することを趣味としているので、海の環境を改善して、将来にわたって常に綺麗な海の写真を撮りたいと強く思うようになりました。そのため海洋と環境を学ぶことができる近畿大学農学部水産学科を志望しました。

講義はまだ始まったばかりですが、農学部には水産学科の他に、環境の保全や改善に関連する学科があります。そのため今後は、専門にとらわれず、様々な授業や実習を積極的に受講して、海洋環境について学びたいと思っています。そして将来は、学んだ知識や体験を活かして、海洋環境の保全や改善に従事する仕事に就きたいと考えています。

その際には趣味の写真撮影を活かして、美しい海の風景を人に伝えたいと考えています。

私の夢

応用生命化学科

久野 竣矢

私の将来の夢はまだ明確には決まっていますが、食品関係で何か役に立つこと、喜ばせることができる仕事に就きたいと考えてこの大学に入学しました。明確な動機があったわけではありませんが、親が共働きであったため小学校の頃から店でご飯を買ってきて食べることや高校の友人とご飯を食べに行くことが多かったこと、会う機会の少なかった祖父と食事会という形で会えたことなどの理由があり食事について思い入れが強かったのだと思います。そんな夢も大学で授業を受けたら、研究室について調べると

将来の夢

食品栄養学科

井上 栞

私には今、二つの夢があります。一つは食育を通して子供達と関わる仕事をする事です。最近、共働きの家庭が増え、正しい食生活を送ることができている子供達が少ないと思います。また、今の子供達が正しい食生活を送ることができなければ、次の世代にも正しい食生活が受け継がれません。私は、少しでも多くの子供達に「食」の大切さを知ってもらい、次の世代に受け継がれるような食育をしたいです。

もう一つは、企業に就職し商品企画をすることです。私は、たくさんの方の企業やコンビニが出す新商品を、発売日の毎週火曜日にチェックしています。新商品を見ると、その企業やコンビニのターゲットや考え方がわかって、とても面白いです。どうやって消費者のニーズに応え、かつ利益を得るのかを考えながら商品企画することは、私にとっては大きな魅力です。高校の時から私より新商品について詳しく知っている人に会ったことがあります。



これからの抱負

環境管理学科

寺口 昌宏

私は昔から多くの自然に囲まれて育ちました。だから小さい頃から自然には自ずと興味があり、不思議な存在とも感じていました。ところがある時、それまで親しんでいた山が道路に変わりました。これまでいた生き物はどうなったんだろう、本当に山を潰して良かったのかと疑問に思いました。その事がきっかけで環境について学びたいと考え、環境管理学科に入学しようと決めました。そこには勉学に励みやすい環境があり、知識

を深めることができると思います。また大学生生活は始まったばかりですが、講義はとも充実した内容で面白く、満足しています。特に、環境管理学科という講義では、いろいろな先生が様々な視点から環境について語れることが

私の夢

バイオサイエンス学科

松井 美澤

「あなたの夢って何？」と聞かれたら、「テニスの試合で勝つ」「ギターでジブリの曲を弾けるようになりたい」「いつか海外旅行に行きたい」など、私には多くの夢がある。しかし私の一番大きな将来の夢は、生殖補助医療培養士になることである。近年、日本では少子高齢化、高齢出産、不妊が懸念されて

「あなたの夢って何？」と聞かれたら、「テニスの試合で勝つ」「ギターでジブリの曲を弾けるようになりたい」「いつか海外旅行に行きたい」など、私には多くの夢がある。しかし私の一番大きな将来の夢は、生殖補助医療培養士になることである。近年、日本では少子高齢化、高齢出産、不妊が懸念されて



を深めることができると思います。また大学生生活は始まったばかりですが、講義はとも充実した内容で面白く、満足しています。特に、環境管理学科という講義では、いろいろな先生が様々な視点から環境について語れることが

魅力的で、座学だけではなく実際に自然に触れて学べるというところが大きな強みだと思います。最後に、これからの4年間は勉強だけをするのではなく、多くの人と知り合って多くの経験をし、有意義な学生生活を送りたいと思っています。



おり、子供を授かりたくても授けられない人が大変増えているとニュースなどでよく聞くようになった。その中で、私は生殖補助医療培養士という技術職があることを知り、将来はこの胚培養士になって、子供を授かる手助けをすることで、社会に貢献したいと考えているようになった。ただしこの夢を実現するための道は険しいと思う。発生学や多くの専門的な知識、そして生殖細胞、胚を扱う技術を習得する必要がある。遺伝子操作の技

術を実験や研究を重ねて習得し不妊に悩む人たちにによりよい不妊治療を提供し、「子供を授かりたい」という願いを叶えたい。また、生殖生物学の高い技術のみならず、患者の不安、恐怖を親身となって寄り添い、会話によって少しずつ取り除いていけるようなコミュニケーション能力を身に付けなければならない。学生生活では多角的な視野を持ち学び続け多くのことを吸収したい。

近大アーマリン

アーマリン近大は安心・安全・美味しい魚を提供します

近大の魚と配剤の恵み

近畿大学 水産研究所

大阪店
大阪市北区大深町 3-1
グランフロント大阪北館 6 階
TEL: 06-6485-7103
ランチ 11:00~15:00 (L.O. 14:00)
ディナー 17:00~23:00 (L.O. 22:00)

銀座店
東京都中央区銀座 6 丁目 2 番先
東京高速道路山下ビル 2 階
TEL: 03-6228-5863
ランチ 11:30~15:00 (L.O. 14:00)
ディナー 17:00~23:00 (L.O. 22:00)
日・祝は L.O. 21:00

近大マグロと選抜鮮魚のお造り盛り

魚、うごく。

fish dance

OPEN

Let's get together. Small discoveries in the big ocean.

城崎マリンワールド

あなたの企業のお手伝い

photo shop **イナダカメラ**

21世紀へ
ニューメディア
プリント

八尾市服部川7丁目153
TEL 0729 (41) 0909 / FAX 0729 (41) 0934
携 帯 09037290909
E-mail t-inada@natural.zaq.jp
代表者 稲田 忠明 (農学科 昭和43年度卒)

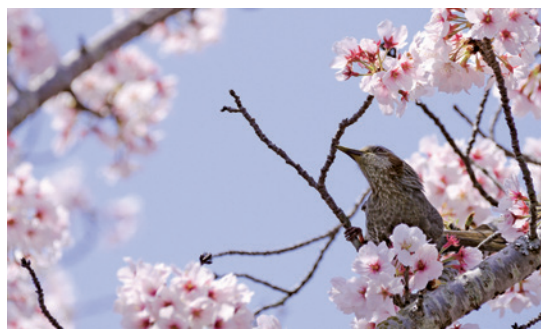
私は平成29年3月に農学研究所農業生産科学専攻博士前期課程の植物感染制御工学研究室を修了し、日東エフシー株式会社という肥料会社に勤めております。4月は社会人マナーや会社のことや肥料の作り方を本社の名古屋にて勉強してまいりました。私は営業として採用されたので、現在千葉県で顧客との話し方や、価格の交渉の仕方などを学び、同期の同僚とともに切磋琢磨しています。肥料業界というのは学生時代の私の専攻分野の植物病理とは別のものでしたが、農業に関わる仕事でしたいと考えていたので私にとってこの上ない職場であると考え入社いたしました。また、つい先日栃木県に出張に行っていました。そこで農家の方と話す機会があり、私の学生時代の専攻の話がその話題作りに役に立ちました。営業先に行くとき商品だけの話でなく、世間話や作物の調子の話をしたりするので、肥料のことだけでなく



たいと思ひ養殖学とは共通点の少ない食品会社に入社しました。味噌の製造から始まった会社なので周りには微生物学や醸造学などを学んだ方が多く、菌などの知識がない私は少し焦りを感じていました。しかし製造現場で作業をした先輩方に教えてもらったりし、少しずつ知識が身につけていきました。現在は商品開発の仕事をしていて、新商品の開発は、コンセプトに合った味を作ることから始まり、コストに見合った原料を探し、実際に工業ベースで生産できるかを確認していきま。思った通りにいかないことも多く苦労することもあります。日々努力して少しでも多くの知識や技術を身につけ、革新的な商品世の中に届けたいと思っています。

食品会社の商品開発
農学研究科水産学専攻(平成26年度卒)
笛田 えりか

化学メーカーの工場では品質管理に関わる仕事をしていました。現在は製品出荷前の分析を担当しており、品質チェックの最後の砦です。製品の種類が多岐に渡るため、分析方法も多岐に渡ります。細かく定められた試験を確実に行う技術と知識の習得が、現在・今後の課題です。クレームや異常がなく、いつも通り工場が動いていることがしつかり品質管理がなされている証であるので、そのことに日々喜びを感じています。私の学生生活で印象に残っているのは、研究室で参加の機会をいただいた国際学会です。社会人となった今思い返すと、学生である間にしかないチャンスを得たよかったと感じます。在学生の皆さんには、今しかできないことを見極め、大いに楽しんで欲しいと思います。お金と時間があれば誰にでもできることではなく、意欲があるあなたにしかできないことに力を注げば、悔いのない学生生活になると思います。



化学メーカーに勤めて
応用生命化学科(平成26年度卒)
姫川 征也

乾燥などの理学所見を基に医師へ輸液の開始や増量を提案し、薬が怪しいと考えたならば薬剤師に確認します。管理栄養士に薬剤や輸液の処方権限はありませんが、患者さんを診て、チーム医療の中心であり続けたいと思います。管理栄養士は院内で唯一の栄養の専門職です。ベッドサイドにいるからこそ気づくことがたくさんあります。厨房だけが職場ではありません。まだ夢の途中ですが、少しでも理想に近づけるよう病棟へ行くことを私はやめません。

農業関連会社の立ち上げ
環境管理学科(平成28年度卒)
島田 優

私は、今年の春、環境政策学研究室を卒業し、同時に奈良市内で有機農業を主軸とした農業の会社(株)ゲミューゼを立ち上げました。栽培作物はニンジン、ヨーロッパ野

日本茶を世界に広げるために
バイオサイエンス学科(平成26年度卒)
西中 多聞

私は大学時代、「病原細菌に対する新規薬剤の開発」というテーマで研究をしていました。卒業研究を通じて、専門知識の重要性や効率的に業務を遂行するための計画の立て方を勉強し、現在もその経験が活かされています。

私は伊藤園に就職し、現在はリーフ製品の品質管理を担当しています。リーフ製品とは急須で入れる煎茶・ほうじ茶、ティーバッグ製品やインスタント製品などを指します。私の業務内容は、全ての製品の香味などを確認し、製品の品質を評価することです。ま



近畿大学校友会
食品支部
会員募集中!

支部概要
設立 平成26年6月7日
支部長 李忠儒
年会費 5,000円
連絡先 支部長 李忠儒
株式会社 日本東京
大阪市住之江区中加賀屋2-10-15
TEL 06-6682-2627
【事務局】事務局長 岡野邦男
立花容器株式会社
岡山県小田郡矢掛町浅海385-1
TEL 0866-82-3300

食品支部は、食品関連産業に従事する近畿大学校友会によって組織された『母校近畿大学の発展、会員相互の親睦と学びあい、ビジネスチャンスの繋ぎ』を目的とした校友会専門職支部です。

食品メーカーだけでなく、広く全国の農林水産業・飲食・小売・流通・機械・設備・梱包資材等、食品産業全般から参加を募っております。

総会や例会、研修旅行を通じて信頼関係を高めつつ、多様なビジネスチャンスへ繋げていきましょう! 校友の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



2017年5月28日 第五回総会
69名のご出席を頂きました。



新グルメ特産 株式会社社長に
食の展望についてご講演頂きました。

近畿大学校友会 食品支部 Facebookのご案内
近畿大学校友会 食品支部 Facebookのご案内
近畿大学校友会 食品支部 Facebookのご案内

た、各製造工場にその評価基準を導入するだけでなく、品質の評価方法の指導も行います。日本での日本茶の品質・生産技術は海外と比べても負けていませんが、品質保証という面では世界基準の認証が



取れていない工場が多いのが現状です。私は海外の市場に「日本ブランド・伊藤園」のリーフ製品を販売していくために、私は各工場と連携し、世界に通用する国際認証の取得を進めています。

在学生だより

大学生活を通して学んだこと

農業生産科学科
植物感染制御工学研究室4回生
北村 翔馬

卒業まで残り数カ月となった今、学生生活をふり返ると様々な経験を通して、人間として成長できたと感じています。クラブ活動では、園芸の魅力や楽しさを多くの人に伝えることの難しさを学びました。一方で、展示会や即売会などの行事を成し遂げたことは貴重な経験となりました。

研究室では、3年間で身につけた知識や経験を生かし、学生生活の集大成となる卒業論文に向けて日々実験に取り組んでいます。所属している研究室では「世の中のために研究」をモットーに掲げており、その中で私は農業の現場で問題になっているイチゴうどんこ病の形態観察を行うことで、新たな防除手段の開発に取り組んでいます。実験を通して、私は思考力だけでなく、計画性や応用力が重要であると痛感しています。このことは、社会に出て働く上でも共通して必要となる力です。私は、卒業までの残り数カ月で、より能力を高め、社会に出て胸を張れるように大きく成長していきたいです。

目。そのおかげで人前に出ることに緊張しなくなり、楽しさを覚えました(笑)。
免許や資格では、潜水士・小型船舶・車・中型バイクを取得しました。おかげで趣味の釣りや愛車でのツーリングも大充実です。3回生の秋からは他学部合同の「宇宙マクロプロジェクト」に参加し、現在リーダーを務めています。教授や企業も巻き込んで海洋生物を衛星でリアルタイム追跡することの実現を目指しています。冬には底引きトラロール漁船に補助調査員として東シナ海で3週間近く乗船していました。

私の研究生活

応用生命化学科
生物制御化学研究室4回生
嶋田 翔太

私は卒業研究で昆虫の神経伝達物質受容体の機能について研究しています。昨今の農業生産において殺虫剤のような農薬の存在が必要不可欠であるという背景があり、新たな農薬の開発の一環として、この様な受容体の研究に興味を持ったからです。それは、昆虫の受容体タンパク質を発現させたカエル卵に殺虫剤として用いられている農薬を作用させることで起こる電気的な変化を調べるというものです。その為には、様々な分

野の知識とテクニックを必要とし、私が研究室に所属してから、自分が何をしているのか全く分からないと言ったことがしばしば続いています。それでも実験の手順を何回もこなしてゼミの演習で他の人の論文発表を聞いていたと次第に、自身の研究テーマの概要が見え始め、最初はきこえなかった実験操作も比較的円滑に進められるようになったのです。「今まで出来なかったことが、少しでも出来るようになった」とそんな実感があり、結果として研究に対して意欲を持つきっかけになりました。大学生活も終盤に差し掛かりましたが、残された時間を一分一秒と大切に、更なる知識と技術を習得し、この四年間の集大成とすることに努めたいと思います。

月間、振り付けの先生の指導の下、毎日ダンスの練習に励みます。KINDAIGIRLSに所属して3年目の今年、リーダーを務めることになりました。

私は特にダンスが一番上手というわけではなかったのですが、リッターゆえの葛藤もありましたが、同期や先輩の支えのおかげで、チームを一つにまとめることができました。そして、みんなで目標に向かって突き進むことの大切さを学びました。管理栄養士を目指し近畿大学農学部に入學したのですが、KINDAIGIRLSに所属したことで、学部の壁を越えて、多くの仲間に出会えました。そしてこのかけがえのない貴重な経験が、私の近大生活の大切な宝物になりました。この経験を活かし、人を喜ばし、元気づけることができるような管理栄養士を目指して、これからも頑張っていきたいと思っています。

大学時代の自由

バイオサイエンス学科
バイオ分子化学研究室4回生
辻井 淳

学生である期間中には、自分のやりたいことに取り組む時間があります。私は以前から海外の大学ではどんな勉強をしているのか興味があったので、一度は留学してみたいと思っていました。そんな時に近畿大学の留学プログラムを知り、この機会を逃すと後悔すると思い、参加することにしました。私が留学したチェンマイ大学は、タイ北部の比較的小規模な田舎にありました。授業は全

て英語で行われ、最初はなかなか聞き取れなくて、周りの友人の助けを得て何とか授業の内容を理解していました。私の語学力はタイに着いた時はひどいものでしたが、授業や現地の大学生との交流を重ねることによって、普段の会話にはなんとか困らないレベルにまでアップすることができました。今回、留学を決意しなければこんな素晴らしい体験は出来なかったと思います。お世話になった留学先の方々に感謝の意を表するとともに、在学生には留学を体験するようお勧めします。



ロンドンでの在外研究を終えて
応用生命化学科
准教授 財満 信宏

この度の在外研究によって得るものが非常に多くありました。ご多忙にも関わらず私が不在中の仕事をすべて引き受けてくださった研究室の森山達哉先生をはじめとして、関係者の皆様深く感謝申し上げます。

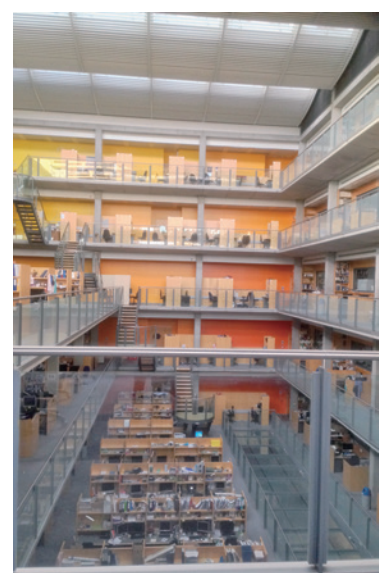
平成28年9月から平成29年2月までの半年間、在外研究としてインペリアルカレッジロンドンで研究をさせていただきました。滞在先の研究室は大学とは思えないような建物の中にあり、区切りの無い

好奇心旺盛な私の学生生活
水産学科
漁業生産システム研究室4回生
高本 采実



私は、卒業生でもあるつくくみさんがプロデュースする入学式で、新入生を歌とダンスのパフォーマンスで歓迎する、KIDA GIRLSというユニットに所属しています。毎年春休みの2ヶ

充実した学生生活
環境管理学科
環境化学研究室4回生
山本 奈美



決める際に一番重要視したことでした。近畿大学はまさに私の求めていた大学だったのです。近畿大学奈良キャンパスは自然に囲まれており、環境管理学科では私の好きな生き物について深く学ぶことが出来ます。山・川・海の環境や生物について幅広く学び、三年生で分属される研究室でそれぞれの分野に分かれて専門性を高め、学びながら研究していきます。

私は環境化学研究室に所属し、環境を科学的視点でとらえながら、微生物を利用した環境汚染物質の分解メカニズムの解明について研究しています。学業以外では、学内資格である里山インストラクターの資格を取得し、里山修復プロジェクトに参加して、キャンパス内にある里山の維持管理や有効活用を目指して活動しています。

いのちをつなぐ企業
株式会社アクアテイメント

aquataiment
06-6955-9681
info@aquataiment.jp
代表 松前(西林) 水産学科2005年卒業

大学院生だより

大学院生にとって

農業生産科学専攻博士前期課程
植物感染制御工学研究室
中尾 勇城

今まで勉強というものはとても嫌いでした。しかし、本
大学での勉強で、本当に自分
が興味を持てることを学べた
結果、知識を深めることへの
楽しさに気づくことができました。
そして、今年からはより
多くの知識を深めるため大
学院への進学を決めました。

私の研究テーマは「トマト
葉上トリコームにおけるうど
んこ病菌の感染挙動の解析」
です。とにかく、実験で行う
処理は細かい作業が多く、実
験の失敗も多々あります。し
かしながら、結果がでるたび
に達成感もありとても楽しい
です。昨年の実験は、先生や
先輩方の指示で行っていました。
今年からは、自分の研究
という意識を持って、自分自
身でしっかりと考え、主体的
に実験を行っています。また、
研究室の後輩たちに実験の指
導も行っています。教えるこ
との難しさを学べる良い経験
となっています。これからも
大学院生活を有意義なものに
するため、様々なことに挑戦
していきたいと思っています。

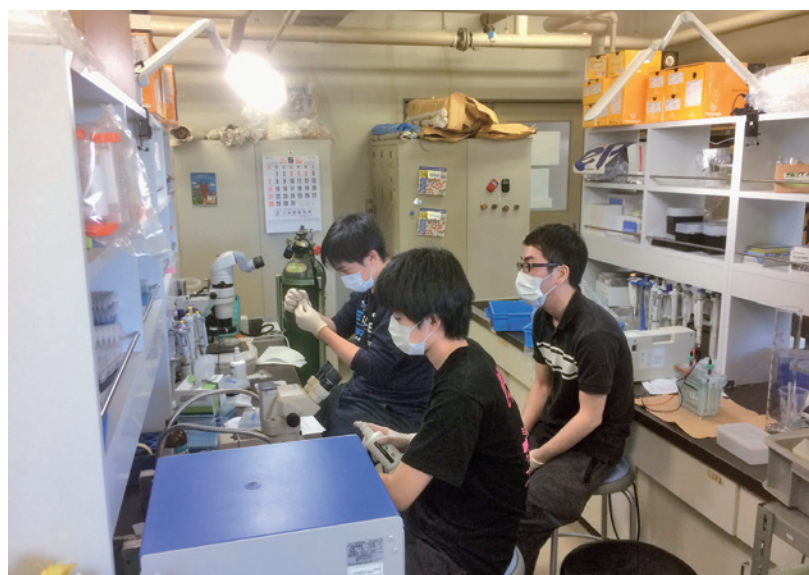
世のため人のため自分のため
水産学専攻博士前期課程
水族環境学研究室
山崎 景也

私は大学3年生から2年間
卒業研究に取り組みました。
しかし、せっかく大学まで来
たのに卒業研究だけで終わら
せてしまうのはもったいない
、と思い大学院に進学するこ
とを選びました。
私が現在取り組もうとして
いる研究は、台風が海に与え



る影響についてです。台風の
凄まじい力によって海がダ
メージを受けて弱ってしまう
のか、あるいは逆に活性化す
るのか。海況と密接な関係を
持つマクロの養殖などを継続
していくためには、海に現れ
る変化を解明することが重要
だと考えています。
大学院では研究だけでなく、
研究室の運営や学生のサポー
トなど様々な物事を柔軟にこ
なしていく必要があります。
多くのことを経験し、学んで
いくことで自分自身を成長さ
せ、そこから得られたものを
研究にはもちろん、後輩や先
輩の大学院生、先生方のため
に生かしていくことができれ
ば幸いです。自分だけでなく
周囲の人々のためにもより一
層成長していきたいと思いま
す。

ヤマトシロアリ
応用生命科学専攻 博士前期課程
森林生物化学研究室
浅井 源二郎



実験はまだまだ失敗の連続で
すが、研究におけるやりがい
というものを実感しながら
日々、試行錯誤を繰り返して
います。今後も周囲の方々の
ご助力に感謝しつつ、精進し
ていきたいと考えています。

中心にあるのは、資源と人と
の関わりです。言わば人の営
みが研究対象となります。
私のテーマは農業水利で、
調査対象が農家の方々になる
ため、研究は農家と地道に関
係性を築き、調査の協力を得
ることから始まります。大学
名を出せば協力してもらえ
るというものではないため、こ
のような過程においては、常
に自分の人間性が試されてい
るように感じます。農業水利
がテーマとは言え、先方が求
めている情報(例えば、農協
改革)に対して無知の場合、
叱られることもあります。そ
れでも農家の方々のおかげで
良い情報が得られると例えよ
うのない喜びが湧いてきます。
こうして得た成果は、ゼミで
発表します。社会調査におい
て、百戦錬磨の先生方からコ
メントをいただき、次の研究
課程へ繋げていきます。
研究生活は、まさに人間性
を高めるための日々です。

残りの大学院生活において
向上心を忘れずに努力し大学
院で学んだことを社会で貢献
できるように日々精進したい
と思っています。そして目標と
している培養士になり生殖補助
医療に少しでも貢献できれば
と思います。

大学院生としての自覚と責任
応用生命科学専攻博士前期課程
公衆栄養学研究室
豊田 啓士

食品について学びたいとい
う気持ちから食品栄養学科に
入学した頃は、卒業後に大学
院に進学しているとは思って
いませんでした。私が現在の
研究に出会ったのは研究室に
配属された3年生の時でした。
潰瘍性大腸炎という特定疾患
にも指定されている病気に関
する研究で、4年生から本格
的に研究に取り組むようにな
り、多くの失敗も経験しまし
た。しかし、良い結果が出た
時は本当に嬉しく、研究の難
しさと楽しさを感じました。
その中でもっと研究がし
たいと思い強くなり、進学
することを決めました。大学
院生になり、さらに研究を進
めていくにつれ、自分で考え

あるようでなかった
新感覚の理系雑貨のお店

SCIENTIFIC IDEA

URL : <http://scientific-idea.com>

代表者 東田一希 (農芸化学科 平成6年度卒業)

casumi hirano



日本食食べよう会の参加者 (寿司や磯辺焼き、抹茶、ほうじ茶、緑茶など)



オランダでの在外研究
応用生命科学科
講師 倉田 淳志

平成28年10月から半年間、
オランダのワグeningen大
学微生物研究所で在外研究を
行ってきました。ドイツとの
国境に近い平坦な田舎にある
大学で、食や健康、経済、畜
産、栽培、農機具開発などに

教員・学生の学会受賞者

(敬称略)

2016年4月～2017年3月

受賞 日順	受賞者	所属（受賞時）	受賞学会	受賞内容	タイトル
1	内海 龍太郎	バイオサイエンス学科 教授	公益社団法人 日本農芸化学会 日本農芸化学会2017年度大会	日本農芸化学会賞	細菌情報伝達ネットワークの分子機構と情報伝達 阻害型薬剤の開発
2	江口 充	水産学科 教授	日本水産学会 平成28年度公益社団法人日本水産学会秋季大会	水産学進歩賞	魚類養殖にかかわる環境微生物の生理生態学的研 究
3	河内 香織 赤尾 大樹	環境管理学科 講師 環境管理学専攻 博士前期課程2年	17th International Symposium on River and Lake Environment and 3rd International Symposium on Aquatic Botany (ISRLE 2017)	ポスター賞	Study of streambed sand and gravel size that are used for river-related trichopteran larvae which having portable case
4	大石 卓史	農業生産科学科 准教授	林業経済学会 第15回（2016年度）林業経済学会	奨励賞	林業人材の育成と山村地域の活性化に関する研究
5	小西 徹	バイオサイエンス学科 4年	生体触媒化学研究会 第18回生体触媒化学シンポジウム	優秀ポスター賞	藍藻によるラズベリーケートンの不斉還元
6	新光 秀行	環境管理学科 4年	日本防菌防黴学会 日本防菌防黴学会第43回年次大会	ポスター賞	野菜・果物由来の薬剤耐性菌に関する研究
7	上田 真結、沖井 香都、 忍海辺結実、落合 恭生、 菅野 敏史、坂上 晴香、 田中 弥和、田村愛美留、 田山 智貴、辻 ひかり、 能勢 修太、松田 沙莉、 村岡 歩実、本庄 智貴、 八杉 彩夏	食品栄養学科 2 年	奈良県中央卸売市場協会 冬の市場まつり	大和郡山市市長賞	大和肉鶏のトマト煮カチャトーラ風 ～たっぷり大和野菜のフリットを添えて～
8	村上 浩規	応用生命化学専攻 博士前期課程1年	日本栄養・食糧学会 近畿支部 第55回日本栄養・食糧学会 近畿支部大会	若手奨励賞	経口免疫寛容によって大豆タンパク質の経皮感作 が抑制される
9	川戸 良将	農業生産科学専攻 博士前期課程2年	日本作物学会 第242回日本作物学会講演会	優秀発表賞（口頭発表部門）	イネ/トウジンビエ混植作物間での根を介した酸素 の受け渡しの評価
10	川村 眞子	バイオサイエンス学科4年	近畿大学生物理工学部生物工学科 第15回近畿大学 環境科学研究会	最優秀賞	植物のヒ素代謝におけるチオールおよびセレン化合 物の役割
11	亀井 美里	バイオサイエンス専攻 博士前期課程2年	日本植物病理学会 平成28年度大会	学生優秀発表賞	キチン信号伝達におけるMAPKKK5の活性化機構 の解析
12	北奥 喜仁 深溝 慶 大沼 貴之	バイオサイエンス専攻 博士後期課程2年 バイオサイエンス学科 教授 バイオサイエンス准教授	関西グライコサイエンスフォーラム 第17回 関西グライコサイエンスフォーラム	口頭発表奨励賞	植物キチナーゼに存在するLysMドメインの構造と 糖結合特性
13	田部 記章 大鳥 久美 田茂井政宏 重岡 成	バイオサイエンス学科 博士研究員 バイオサイエンス学科 研究員 バイオサイエンス学科 准教授 バイオサイエンス学科 教授	日本農芸化学会 2016年度大会	トピックス賞	ラン藻FBP/SBPase導入によるサツマイモバイオマ スへの影響



平成28年11月3日(木)に食品栄養学科卒業生で構成される「KINKAN会」のイベントを開催いたしました。今回のテーマは「卒業生の情報交換会」私の職場ではこんなことをしています」でした。近畿大学を卒業し社会で独り立ちしていく中で、誰もが思う「他はどうなんだろう?」という疑問を卒業生同士が気軽にぶつけ合い、疑問を解決していく場を設けたいと思います。当日は、病

第7回KINKAN会
イベントを終えて
9期生 上西 梢



院や福祉施設、食品企業などで活躍する卒業生が、実際に使用している献立や栄養指導媒体等を持ち寄り、グループに分かれてワールドカフェ方式で意見交換を行いました。普段なかなか聞けない他施設の仕事情や工夫点を聞くとともに、職場での悩み事も相談でき、仕事のモチベーションアップにつながったのではないかと考えております。お忙しい中、参加いただいた卒業生・在校生の皆様や学内の先生方誠にありがとうございました。平成29年度も同様の時期にイベントを開催する予定です。今後KINKAN会の活動を通して、卒業生・在校生の交流を深め、互いに切磋琢磨しながら母校への還元を目指したいと思ひます。

緑友会会報原稿募集のお願い

緑友会会報は、同窓生の皆様を結びつける年に一度の会報です。できるだけたくさんの方からの寄稿をお待ちしています。原稿の形式は特に問いません。お気軽にお寄せいただければ幸いです。緑友会事務局又は、研究室の先生宛にご送付下さい。



連絡先：近畿大学農学部 緑友会事務局
〒631-8505 奈良市中町3327-204
電話 0742-43-7273 (内線2030)
メールアドレス
ryokujim@nara.kindai.ac.jp

訃報

農学部事務部守衛室 山本源太郎様が
ご逝去されました。(平成二十八年三月)
食品栄養学科 平山 修先生が
ご逝去されました。(平成二十八年八月)
国際資源管理学科 越島 哲夫先生が
ご逝去されました。(平成二十八年十月)
農学科 鈴木 登先生が
ご逝去されました。(平成二十八年十一月)
水産学科 浅野 博利先生が
ご逝去されました。(平成二十九年一月)
ご冥福をお祈りします。

緑友会名簿訂正（変更）届

氏名	卒業学科	年 度
所 属 研究室		
現 住 所	(〒)	
勤 務 先	会 社 名	住 所 (〒)

住所等間違っていた、あるいは変更がある場合、この用紙を緑友会事務局までお送りください。お電話、メールでお知らせいただいても結構です。
連絡先：〒631-8505 奈良市中町3327-204 近畿大学農学部 緑友会事務局
電話 0742-43-7273(内線2030) メールアドレス ryokujim@nara.kindai.ac.jp

平成28年度近畿大学農学部緑友会事業報告

月 日	項 目	場 所
4月12日	運営委員会	C会議室
5月13日	終身会費納付書発送（647通）	
6月11日	幹事会 1) 平成27年度事業報告 2) 平成27年度決算報告 3) 平成28年度事業計画（案） 4) 平成28年度予算（案） 5) その他	第1会議室
8月23日	終身会費納付書2回目発送（389通）	
8月30日	在学生名簿調査完了	
9月20日	会報第21号会員へ発送	
平成29年 1月13日	終身会費納付書3回目発送（265通）	
2月10日	終身会費未納者を6学科に通知	
2月28日	委員会	C会議室
3月25日	緑友会賞 授与	

平成28年度近畿大学農学部緑友会決算

＜卒業者部会＞ (単位：円)

収 入 の 部	支 出 の 部
前年度繰越金 4,465,364	郵便費 1,369,717
終身会費(繰越3名分) 30,000	印刷複写費 1,474,229
終身会費 4,350,000	会議会合費 63,000
広告掲載料 80,000	人件費 1,046,520
会報印刷・郵送代の負担金(学生部会より在学生分) 285,100	緑友会賞 100,000
寄付金(卒業生より) 60,000	雑費 164,766
利 息 43	支出の部計 4,218,232
	次年度繰越金 5,052,275
合 計 9,270,507	合 計 9,270,507

会計幹事 上田茂登子 会計幹事 武田 徹
上記のとおり、監査いたしました結果適正であります。
平成29年3月31日

監 事 小林 徹
監 事 谷 哲弥